



平成21年11月20日 次所
田賀出張 TEL. 370-3657
平飯用賀
78頁務
号者局
任
行
第78号

創立五十周年を迎えて

用賀中学校長 鈴木 滋
本校が誕生してから半世紀、節目となる記念すべき時を迎えました。

この間、本校の礎と今なお光茫を放つ伝統を培われた歴代校長、教職員、生徒PTA、地域並びに区当局関係各位等、多くの方々のご尽力・ご支援に深い感謝と敬意を表します。

昭和三十四年創立当時「六・三制教育は、中学までが義務教育。広い用賀と上用賀。小中二校は必要だ」と。田んぼや畑であった所を地主さんの協力により、校地の真ん中を通る道を廃止、桜の植樹、地域を上げての校庭整地作業等、当時の人々の学校に対する熱い思いが現在に引き継がれ、地域とともに子どもを育てる「ようがの学び舎」として京西・用賀小とともに教育活動を展開しております。



大成SPライブコンサート

十月四日、海上自衛隊東京音楽隊と駒澤大学高等学校吹奏楽部によるコンサートを開催した。同校吹奏楽部による地域貢献活動への恩返しの気持で海自音楽隊にお願いし実現した。約九百名の満員の客席は大いに盛り上がり、ある女性は「感動して涙が出た」と仰しやられた。

用賀の三町会、商店街振興組合、消防団、YCC、おやじの会、小中校PTA、用賀出張所等、ご協力頂いた皆様に感謝の気持ち一杯である。

町づくりには、皆の協力が欠かせないと強く感じた一日だった。
(上用賀「丁目まちづくり協議会」)

文化薫るまちづくり

地域の本棚玉川台図書館

玉川図書館長 越後信子
図書館は玉川台区民センター3階にあり、昨年6月にリニューアルオープンしました。資料を借りるときや予約をするときは登録が必要ですが、登録の際は運転免許証や学生証など氏名・住所が確認できるものをお持ち下さい。

開館時間は火曜日曜日は午前9時午後7時、祝日・休日は午前9時午後5時です。休館日は毎週月曜日。ただし、休・祝日と重なった場合は翌日になります。

毎月23日は『世田谷区家庭読書の日』、来年は『国民読書年』です。
図書館は読書活動を応援しています。



旧長崎邸岡本民家園

瀬田三吉 長崎重好
古民家保存の為に昭和五年旧長崎家の解体が始まった。二階の自室から破片が舞い上がる様子があった。僕が十二歳の頃だった。叔父から貰った古いカメラで窓から体を乗り出し、解体風景を撮影した。昭和五四年に古民家の再築が始まる。柱の粗立と茅葺きが完成した時、嵐が襲った。柱は倒れ折れ曲り、屋根に押しつぶされた。再々築が始まり、完成した。

後世に残る古民家を再現していただき、感謝しております。

一日ボランティアのすすめ

赤野町副会長 池田良夫
東京マラソンに多くの都民がボランティアとして運営に参加して、成功に貢献した報道が話題になっていきます。世田谷区の行事や、各町会の事業やイベントでも、地域の人々のボランティアへの参加を呼び掛けています。

安心安全のパトロールから、町内の清掃、イベント後のお掃除大会など、手軽にできることが多くあります。

定年後からとか、NPO団体に登録してからなど考えないで、今日一日の参加から始めてみませんか。自分の住む街が好きになり仲間が増えますよ。

木洩れ日

飯田恭次

十一月三日は文化の日、この日が、かつて、明治天皇の誕生日と云う事で、四大節の一つ、明治節と呼ばれていたのを憶えている人も少なくなりました。大正、昭和の時代が過ぎ平成の世も二十一年目、今夏、日本の政界は本格的な二大政党時代に。そして、鳩山民主党政権が誕生し早二ヶ月。自民党からの政権交代は国会議員自体の世代交代を一挙に進めました。

明治維新、戦後期に続く第三の歴史の変革は日本の国を見る外国の眼も、大分変わって来ています。

一方、国内のマスコミや学校教育では、日本の国歌、国旗等の話題が盛んで、日本の国民、日本人と云う視点での論議は未だ少ない様です。

そこで、少し古いお話しを一つ……昭和十六年四月国策上、小学校が国民学校と呼び名が変わった時、国民科と云う学科が出来ました。その内容は、修身、国語、国史、地理の四科目。戦後、新教育制度の下でこの国民科は、社会科と形を変え、平和日本の建設へと進みます。

日本の国の歴史や文化を次の世代に、どう引き継いで行くか、私たち自身に与えられた課題とも云えます。



郷土紹介

矢倉沢往還

三子五川 会長 池田良夫
郷土史会
律令時代に古代の国道として畿内(天子の住む都をささむ)京師と言ひ大和 山城、摂津河内を四畿内と定められた)から七〇一年大宝元年の令制で、七道が都から放射状に官道として各国府へ作られた。山陽道だけが大陸、東海道、東山道、北陸道は中路、その他が小路とされた。

私たちの世田谷郷は、武蔵国荏原郡に属する。中央から赴任する地方官や国守たちや九州の防衛に徴兵された防人が通った、古道としての国道の宿駅がどこであったのか不明な点が多く、現在も學者の研究

が続けられている。

伊豆国の国府から足柄山を越えて相模国の国府(不明だが海老名、平塚、大磯)を経て、武蔵国府、府中への道と常陸国の国府石岡までのルートを見ると、三浦半島の走水から海路であつた上総の国や安房国(向うもの、下総国市川への下ッ道)上野国下野国への上ッ道との中間となる中ッ道こそ、荏原郡豊島郡を通る今の246国道で、矢倉沢往還であつたと思われる。各国にある国分寺跡や一宮を線で繋ぐと古道が見えてくるが、伊豆国一宮は三島神社、武蔵国一宮はさいたま市の氷川神社(大宮神社)である。常陸国分寺跡は石岡にある。



地域の交流とまちづくり

用賀出張所

近年、家族の形も様々になり、個人単位で生活している方も増えてきました。このような中、人間関係が薄れ、近所や地域同士との交流が難しくなっています。少子高齢化社会が続く中、年代の垣根を越えた交流が求められています。

地域行事

青少年用賀地区委員会では「ふれあいラリー」まつり」を管内5つの小学校を毎年、持ち回りで開催しています。今年度は10月24日(土)、用賀小学校で行いました。てくたくブックをもとに指定された石標を巡るウォークラリーです。その他、焼きそば、ポップコーン、揚げギョウザなどの模擬店や輪投げなどのゲーム



各地域の町会でも毎年、様々な行事を開催していますので、是非とも参加してみたいかがたしょうか。

神田生まれ

用賀二丁目 龍澤文代

私が生まれ育った神田松永町は、表は昭和通り、裏は御成街道に挟まれた所です。

六月、神田明神のお祭り、区内、町を挙げての熱気に溢れた大祭でした。七月、西国の川開きは家からよく見えませんでした。

わが故郷

年二回の国技館のお相撲は体育の先生に引率され、有志の生徒達と一緒に見に行きました。その頃の横綱は武蔵山、玉錦が全盛でした。小学生の時に日支事変が始まり、上海陥落、南京陥落の度に靖国神社へ旗行列、大人は、夜、提灯行列に参加しました。

女学校二年生の時に、大東亜戦争が始まり、英語は敵国語と云うことで時間割から無くなりました。有楽町の日劇の地下で、落下傘のミシン掛けをした、北区の尾久の工場で、爆薬の粉を袋につめて閉じる奉仕活動をしました。三月十日の大空襲で下町は全滅し、私の家族も焼け出され母の実家に疎開しました。戦線後で大勢の尊い生命が失われ昭和千年八月十五日終戦を迎えました。二年後元の場所へ戻りました。秋葉原の電気街ブエ横はその頃に出来た町です。戦後六十有余年が経ちました。此の平和な世の中がいつまでも続きます様にと切に祈ってやみません。

スポーツ

月おめでとー!

駒沢大学高等学校吹奏楽部は全国大会で金賞受賞。



心歳末助け合い・地域支え合い募金運動
11月19日~12月18日
ご協力をお願い致します。

住宅用火災警報器の設置はお済みでしょうか。
平成22年4月1日から、設置する事が義務づけられております。

煙感知タイア、熱感知タイアがあります。タイアの特長を生かして取り付けましょう。



今年、京西小学校は創立百三十周年、用賀中学校は五十周年を迎えました。用賀中学校は昭和三十四年創立され、私は一年生としてその年入学しました。二年生、三年生は瀬田中から転校し、また、多くの先生方も一緒に転校されました。

私たちは半分は瀬田中に敬意を払い、半分は自分たちの学校を卑下して用賀中、用田中と呼んでいました。そんな用田中ももう五十年が経過し、落着きと風格が出てきました。これからも教育、文化の中心として発展して行ってほしいと思います。(高橋佳)